

【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

Q1. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「あり」はう変「あり」連用形。連用形+しか＝過去「き」已然形。「しかば」で「あったので」。已然形+ば。

Q2. 答え：副詞「しか (然)」(そのように) **解説：**「しか」は下の「言ふ」を修飾する副詞。「人々はそのように言って笑う」。過去「き」已然形なら直前に連用形が必要だが、ここは文節の頭に立ち、直前の語に接続していない。

Q3. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「見」は上一段「見る」連用形。連用形+しか＝過去「き」已然形。「見しかば」で「見たところ」。

Q4. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「言ひ」は四段「言ふ」連用形。連用形+しか＝過去「き」已然形。「言ひしかど」で「言ったけれども」。已然形+ども。

Q5. 答え：願望の終助詞「てしか」の一部(～したいものだ) **解説：**「見」は上一段「見る」連用形。文末の「てしか」(「てしが・てしがな」とも)は自分の願望「～したいものだ」を表す終助詞。「珍しい花を見たいものだ」。「こそ」がないのに「しか」で言い切る文は、まず願望を疑う。

Q6. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「聞き」は四段「聞く」連用形。連用形+しか＝過去「き」已然形。「聞いたので」。

Q7. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「思ひ」は四段「思ふ」連用形。連用形+しか＝過去「き」已然形。「思ったけれども」。已然形+ども。

Q8. 答え：副詞「しか (然)」(そのように) **解説：**「しか」は「思ふ」を修飾する副詞。文頭にあり、直前に連用形がないので過去「き」已然形ではない。「そのように思う人も多い」。

Q9. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「来(き)」はカ変「来」連用形。連用形+しか＝過去「き」已然形。「来たので」。カ変連用形は「き」。

Q10. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「せ」はサ変「す」未然形。サ変・カ変には「き」が未然形にも付く特殊接続があり、「せしか」で過去「き」已然形。「したので」。

Q11. 答え：願望の終助詞「にしか」の一部(～したいものだ) **解説：**「帰り」は四段「帰る」連用形。連用形+「にしか」(「にしが・にしがな」とも)＝願望の終助詞。「故郷に早く帰ってしまいたいものだ」。

Q12. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「侍り」はう変「侍り」連用形。連用形+しか＝過去「き」已然形。文中の係助詞「こそ」を受けた已然形結び(係り結び)。「ございました」。

Q13. 答え：副詞「しか (然)」(そのように) **解説：**「しか」は「心得」を修飾する副詞。「心得よ」は下二段「心得(こころう)」の命令形。「まず、そのように心得よ」。

Q14. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「受け」は下二段「受く」連用形(e段)。連用形+しか＝過去「き」已然形。「受け取ったので」。

Q15. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「聞き」は四段「聞く」連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「名前を聞いた」。

Q16. 答え：願望の終助詞「てしか」の一部(～したいものだ) **解説：**「眺め」は下二段「眺む」連用形。「てしか」に終助詞「な」が付いた「てしかな(てしがな)」の形。「心ゆくまで月を眺めたいものだなあ」。

Q17. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「立ち」は四段「立つ」連用形。連用形+しか＝過去「き」已然形。「立った(出発した)ので」。

Q18. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「覚え」は下二段「覚ゆ」連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「しみじみと思われた」。

Q19. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**「しか」は「答ふ」を修飾する副詞。「老人もまたそのように答える」。指示の副詞「さ・かく・しか」はまとめて覚える。

Q20. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「経」は下二段「経（ふ）」連用形。連用形+しか＝過去「き」已然形。「月日が経ったので」。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「降り」は四段「降る」連用形。連用形+しか+ば＝過去「き」已然形。「雨が降ったので、道が悪い」。

Q22. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「仰せられ」は「仰せらる」連用形。連用形+しか+ば＝過去「き」已然形。「おっしゃったので、かしこまった」。

Q23. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「思ひ」は四段連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「たいそう趣があると思った」。

Q24. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「約せ」はサ変「約す」未然形。「せしか」で過去「き」已然形。「約束したけれども、来ない」。已然形+ど。

Q25. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「暮れ」は下二段「暮る」連用形。連用形+しか+ば＝過去「き」已然形。「日が暮れたので、宿を借りた」。

Q26. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「悲しかり」は形容詞「悲し」連用形（カリ活用）。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「たいそう悲しかった」。

Q27. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「吹き」は四段「吹く」連用形。連用形+しか+ば＝過去「き」已然形。「風が吹いたので、波が荒い」。

Q28. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「咲き」は四段「咲く」連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「花だけが咲いた」。「のみ」が限定で「しか」自体は過去助動詞である点に注意。

Q29. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「別れ」は下二段「別る」連用形。連用形+しか+ど＝過去「き」已然形。「別れたけれども、忘れない」。

Q30. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**「しか」はウ変「あり」を修飾する副詞。「しかあり」（そのようである）は副詞「しか」の代表的な型。「人の言うことは、なるほどそうなのだろう」。

Q31. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「来（き）」はカ変連用形。「来しかば」で過去「き」已然形。「訪ねて来たところ、留守だった」。

Q32. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「覚え」は下二段「覚ゆ」連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「心細く思われた」。

Q33. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「寒かり」は形容詞「寒し」連用形（カリ活用）。連用形+しか+ば＝過去「き」已然形。「たいそう寒かったので、火を焚く」。

Q34. 答え：願望の終助詞「にしか」の一部（～したいものだ） **解説：**「上り」は四段「上る」連用形。連用形+「にしか」＝願望の終助詞。「いかで」は願望表現と呼応して「なんとかして」。「なんとかして都へ上ってしまいたい」。

Q35. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「見」は上一段「見る」連用形。連用形+しか+ば＝過去「き」已然形。「月を見たところ、故郷を思う」。

Q36. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「申し」は四段「申す」連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「たびたび申し上げた」。

Q37. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「積もり」は四段「積もる」連用形。連用形+しか+ば＝過去「き」已然形。「雪が積もったので、道がふさがった」。

Q38. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**「しか」は「言ふ」を修飾する副詞。「世間の人みなそのように言う」。直前の「みな」に付いているのではなく、文節の頭に立っている。

Q39. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「見」は上二段「見る」連用形。連用形＋しか＋ど＝過去「き」已然形。「不思議だと見たけれども、通り過ぎた」。

Q40. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「侍り」はう変「侍り」連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「たいそううれしうございました」。

Q41. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「ことづて」は下二段「ことづつ」連用形。連用形＋しか＋ば＝過去「き」已然形。「言伝てしたので、安心だ」。

Q42. 答え：願望の終助詞「てしか」の一部（～したいものだ） **解説：**「読み」は四段「読む」連用形。文末の「てしか」＝願望の終助詞。「この物語を最後まで読みたいものだ」。

Q43. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「帰り」は四段「帰る」連用形。連用形＋しか＋ば＝過去「き」已然形。「帰ったところ、人もいない」。

Q44. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「思ひ」は四段連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「なるほどと思った」。

Q45. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「召し」は四段「召す」連用形。連用形＋しか＋ば＝過去「き」已然形。「お呼びになったので、参上した」。

Q46. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**「しか」は「教ふ」を修飾する副詞。文末の「き」は連用形「教へ」に付いた過去「き」の終止形。「母もそのように教えた」。傍線部自体はあくまで副詞である点に注意。

Q47. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「せ」はサ変「す」未然形。「せしか」で過去「き」已然形。「旅寝をしたので、夢も見ない」。

Q48. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「聞き」は四段連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「心にしみて聞いた」。

Q49. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「待ち」は四段「待つ」連用形。連用形＋しか＋ど＝過去「き」已然形。「待ったけれども、来ないままになった」。

Q50. 答え：願望の終助詞「にしか」の一部（～したいものだ） **解説：**「入り」は四段「入る」連用形。文末の「にしか」＝願望の終助詞。「俗世を捨てて、深い山に入ってしまいたいものだ」。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

Q51. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「侍り」はう変連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「すばらしいございました」。

Q52. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**「しか」は「あり」を修飾する副詞。「ありき」は連用形「あり」＋過去「き」終止形。「昔はそうであつた」。語順が逆の「ありしか」（連用形＋已然形）との違いに注意。

Q53. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「覚え」は下二段連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「あきれるほどに思われた」。

Q54. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「老い」は上二段「老ゆ」連用形。連用形＋しか＋ば＝過去「き」已然形。「老いたので、力がない」。

Q55. 答え：願望の終助詞「てしか」の一部（～したいものだ） **解説：**「聞き」は四段「聞く」連用形。文末の「てしか」＝願望の終助詞。「だに」は願望表現と呼応して「せめて～だけでも」。「せめて山ほととぎすの初音だけでも聞きたいものだ」。

Q56. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「問ひ」は四段「問ふ」連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「どうしたのかと尋ねた」。

Q57. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「恋ひ」は上二段「恋ふ」連用形。連用形+しか+ば＝過去「き」已然形。「恋しく思ったので、手紙を書く」。

Q58. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「見え」は下二段「見ゆ」連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「趣深く見えた」。

Q59. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**「しか」は「聞く」を修飾する副詞。「聞きしか」（連用形+しか）なら過去「き」だが、ここは「しか聞き」の語順で「しか」が前に立つ。「そのように聞いて、急いで退出した」。

Q60. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「集まり」は四段「集まる」連用形。連用形+しか+ど＝過去「き」已然形。「大勢集まったけれども、決まらない」。

Q61. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「戦ひ」は四段「戦ふ」連用形。連用形+しか+ば＝過去「き」已然形。「戦ったので、勝った」。

Q62. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「見え」は下二段連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「これほどと見えた」。

Q63. 答え：願望の終助詞「てしか」の一部（～したいものだ） **解説：**「究め」は下二段「究む」連用形。文末の「てしか」＝願望の終助詞。「和歌の道を究めたいものだ」。

Q64. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「出で立ち」は四段「出で立つ」連用形。連用形+しか+ば＝過去「き」已然形。「出発したので、見送った」。

Q65. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「聞き」は四段連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「すばらしいと聞いた」。

Q66. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**「しかのみならず」は「しか（そのように）＋のみ＋ならず」で「そればかりでなく」。「しか」は前の内容を指す副詞。「そればかりでなく、雨まで降った」。漢文訓読でも頻出の言い回し。

Q67. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「告げ」は下二段「告ぐ」連用形。連用形+しか+ば＝過去「き」已然形。「別れを告げたところ、涙が落ちる」。

Q68. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「承り」は四段「承る」連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「ありがたく承った」。

Q69. 答え：願望の終助詞「てしか」の一部（～したいものだ） **解説：**「逢ひ」は四段「逢ふ」連用形。文末の「てしか」＝願望の終助詞。「契りし」の「し」は過去「き」の連体形。「約束したあの人に、もう一度逢いたいものだ」。

Q70. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「初め」は下二段「初む」連用形。連用形+しか+ば＝過去「き」已然形。「思いはじめたので、忘れられない」。

Q71. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「暮らし」は四段「暮らす」連用形。連用形+しか+ど＝過去「き」已然形。「一日を過ごしたけれども、心が慰まない」。

Q72. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「案じ」はサ変「案ず」連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「このことだけを心配した」。「のみ」が限定で、「しか」は過去助動詞。

Q73. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**「しか」はサ変「す」を修飾する副詞。「せよ」はサ変の命令形。「そうせよとおっしゃる」。

Q74. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「受け」は下二段「受く」連用形。連用形+しか+ば＝過去「き」已然形。「お受けしたので、急いで参上する」。

Q75. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「寝（い）ね」は下二段「寝（い）ぬ」連用形。連用形＋しか＋ど＝過去「き」已然形。「横になったけれども、眠れない」。

Q76. 答え：願望の終助詞「にしか」の一部（～したいものだ） **解説：**「逃れ」は下二段「逃る」連用形。文末の「にしか」＝願望の終助詞。「つらいことの多いこの世から、逃れてしまいたいものだ」。

Q77. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「受け」は下二段連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「喜んで受け取った」。

Q78. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「旅立ち」は四段「旅立つ」連用形。連用形＋しか＋ば＝過去「き」已然形。「旅立ったので、便りもない」。

Q79. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「照らし」は四段「照らす」連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「月だけが照らした」。「のみ」が限定で「しか」は過去助動詞。

Q80. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**「しか」は「あり」を修飾する副詞。「なるほど、そうであるはずのことだ」。連語「しかるべき」はこの「しかあるべき」が縮まった形。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「聞き」は四段連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「都で聞いた（が）」。已然形で逆接的に下へ続く用法。

Q82. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**傍線部は「言ふ」を修飾する副詞「しか」。後ろの「言ひしかど」の「しか」は連用形「言ひ」に付いた過去「き」已然形（＋ど）。一文に二種類の「しか」が並ぶ形。「そのように言ったけれども、人々は用いない」。

Q83. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「思ひ」は四段連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「心の中では思った（が）、言うことができなかった」。

Q84. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「あり」はう変「あり」連用形。連用形＋しか＝過去「き」已然形。「しかばこそ」で「あったからこそ」。已然形＋ば＋こそ。

Q85. 答え：願望の終助詞「てしか」の一部（～したいものだ） **解説：**「得（え）」は下二段「得（う）」連用形。「てしかな（てしがな）」＝願望の終助詞＋な。「いかで」と呼応して「なんとかしてこの姫君を手に入れたいものだ、見たいものだ」。後半の「見てしかな」も同じ用法。

Q86. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「覚え」は下二段連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「たいそういとしく思われた」。

Q87. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**傍線部は「定む」を修飾する副詞「しか」。後ろの「定めしかば」の「しか」は連用形「定め」に付いた過去「き」已然形（＋ば）。「そのように定めたのだから、今さら背いてはならない」。

Q88. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「聞こえ」は下二段「聞こゆ」連用形。連用形＋しか＋ば＝過去「き」已然形。「なるほどと申し上げたので、うなずいた」。

Q89. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「眺め」は下二段「眺む」連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「月ばかりを眺めていた」。「のみ」が限定で「しか」は過去助動詞。

Q90. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「思ひ」は四段連用形。連用形＋しか＋ど＝過去「き」已然形。「私だけがこう思うのだろうと思ったけれども、そうでもなかった」。

Q91. 答え：願望の終助詞「にしか」の一部（～したいものだ） **解説：**「なり」は四段「なる」連用形。「にしかな（にしがな）」＝願望の終助詞＋な。「私も山に住む人になってしまいたいものだなあ」。

Q92. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「まゐり」は四段「参る」連用形。文中の係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「お便りがあったからこそ、参上した」。

Q93. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「聞き」は四段連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「鐘の音は聞いた（が）、姿は見ない」。

Q94. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**「しか」は「言ふ」を修飾する副詞。「言へり」は四段已然形＋完了「り」。「昔の人もそのように言っている」。

Q95. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「見」は上一段「見る」連用形。連用形＋しか＋ば＝過去「き」已然形。「しみじみと見たので、忘れがたい」。

Q96. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「申し」は四段「申す」連用形。連用形＋しか＋ど＝過去「き」已然形。「申し上げたけれども、許されない」。

Q97. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**「しか」は「あり」を修飾する副詞。「けむ」は過去推量。「人の心は、昔もそうであったのだろう」。直前の「も」は係助詞で、「しか」がそれに接続しているのではない。

Q98. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**「覚え」は下二段連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「たいそう気の毒に思われた」。

Q99. 答え：副詞「しか（然）」（そのように） **解説：**「しか」は「思ふ」を修飾する副詞。「思はば」は未然形＋ば（假定）。「こそ～べけれ」の係り結びにも注意。「そう思うなら、早く帰るのがよい」。

Q100. 答え：過去の助動詞「き」の已然形「しか」 **解説：**末尾の「思ひ」は四段「思ふ」連用形。係助詞「こそ」を受けた已然形結び。「生きていたら、こうは嘆かないだろうに、と思った」。